

## 検査内容変更のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

この度、下記検査項目におきまして、検査内容の変更をさせていただきますので、ご案内申し上げます。

何卒ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

### 記

■ 変更日 2025年 12月 5日（金）ご依頼分より

■ 検査変更項目

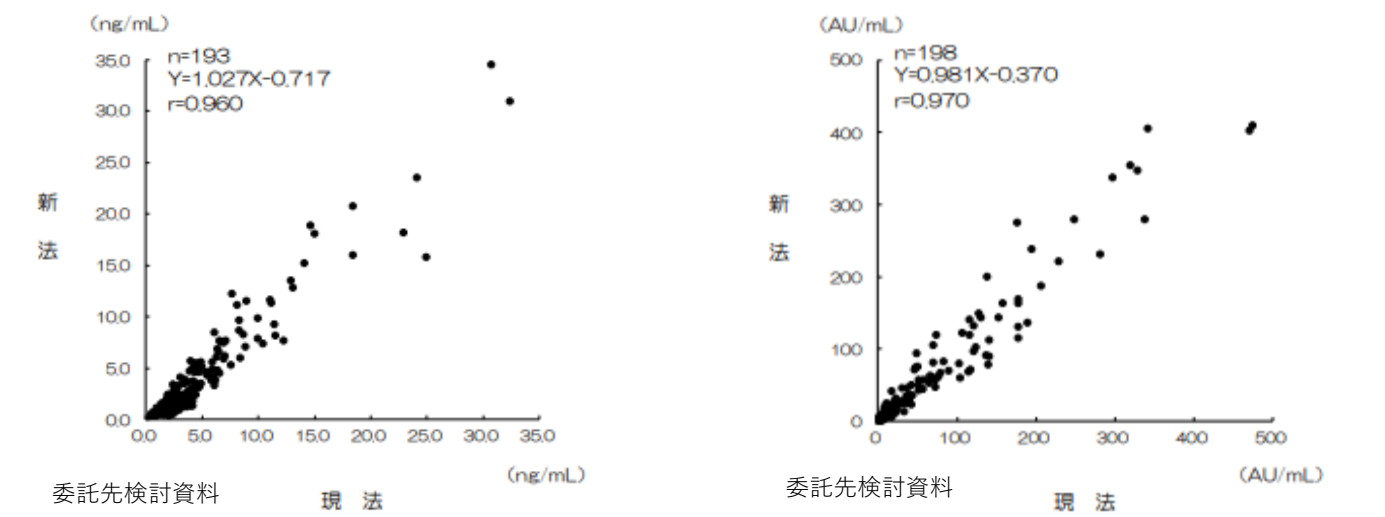
● 低カルボキシル化オステオカルシン（ucOC）	● 抗ガラクトース欠損IgG抗体
● HIV-1RNA定量	● HIV-1/2特異抗体
● トータルPAI-1（tPA・PAI-1複合体）	● プロテインC（抗原量）
● HIT抗体（血小板第4因子・ヘパリン複合体抗体）	● アデノウイルス CF
● 単純ヘルペスウイルス CF	● サイトメガロウイルス CF
● コクサッキーウイルスA群9型 CF	● コクサッキーウイルスB群1型 CF
● コクサッキーウイルスB群2型 CF	● コクサッキーウイルスB群3型 CF
● コクサッキーウイルスB群4型 CF	● コクサッキーウイルスB群5型 CF
● コクサッキーウイルスB群6型 CF	● 日本脳炎ウイルス CF
● RSウイルス CF	● ムンプスウイルス CF
● MAC抗体（抗酸菌抗体定性）	● 水痘・帯状疱疹ウイルス CF
● オーム病クラミジア抗体 CF	● β-D-グルカン
● HBV DNA定量	● HCV RNA定量
● サイトメガロウイルス核酸定量	● ヒトパピローマウイルス（HPV）ジェノタイプ判定
● I型コラーゲン架橋N-テロペプチド(尿中NTX)	● リポプロテイン( a )
● CYFRA21-1	● 水痘帯状疱疹IgG
● 水痘帯状疱疹IgM	

項目コード	検 査 項 目	変更内容	新	現	備 考
0942	低カルボキシル化オステオカルシン (ucOC)	検査方法	CLEIA	ECLIA	測定機器変更による測定試薬変更に伴う、検査方法、報告範囲、検体量の変更
		報告範囲	0.39未満、 0.39～49.9、50.0以上	0.38以下、 0.39～49.9、50.0以上	
		検体量(mL)	0.6	0.5	
0461	抗ガラクトース欠損IgG抗体	検査方法	CLEIA	ECLIA	測定機器変更による測定試薬変更に伴う、検査方法、報告範囲、検体量の変更
		報告範囲	1.0未満、 1.0～99900000	1.0以下、 1.1～99900000	
		検体量(mL)	0.6	0.3	
0452	HIV-1RNA定量	保 存	冷蔵	凍結	親展報告書から汎用報告書への変更、保存の変更
		報告形態	汎用報告書	親展報告書 (封入封緘)	
0700	HIV-1/2特異抗体	報告形態	汎用報告書	親展報告書 (封入封緘)	親展報告書から汎用報告書への変更、項目構成(分画子)の変更
		項目構成 (分画子)	分画子を9個報告いたします。 子1：総合解釈 子2：HIV-1判定 子3：p31(POL) 子4：gp160(ENV) 子5：p24(GAG) 子6：gp41(ENV) 子7：HIV-2判定 子8：gp36(ENV) 子9：gp140(ENV) 基準値：HIV陰性		
3694	トータルPAI-1 (tPA・PAI-1複合体)	所要日数 (日)	2～4	2～5	所要日数の変更
3663	プロテインC (抗原量)		2～4	2～5	
2975	HIT抗体 (血小板第4因子・ヘパリン複合体抗体)		2～4	2～6	
0518	アデノウイルス CF		6～7	4～6	
0597	単純ヘルペスウイルス CF				
0531	サイトメガロウイルス CF				
0566	コクサッキーウイルスA群9型 CF				
0567	コクサッキーウイルスB群1型 CF				
0568	コクサッキーウイルスB群2型 CF				
0569	コクサッキーウイルスB群3型 CF	所要日数 (日)	6～7	4～6	所要日数の変更

項目コード	検 査 項 目	変更内容	新	現	備 考
0570	コクサッキーウイルス B群4型 CF	所要日数 (日)	6～7	4～6	所要日数の変更
0571	コクサッキーウイルス B群5型 CF				
0572	コクサッキーウイルス B群6型 CF				
0540	日本脳炎ウイルス CF				
0536	RSウイルス CF				
0513	ムンプスウイルス CF				
0831	MAC抗体 (抗酸菌抗体定性)		4～6	3～5	
0605	水痘帯状疱疹 CF	所要日数 (日)	6～7	4～6	所要日数の変更、 報告書表記の変更
		報告書表記	水痘・帯状ヘルペス CF	水痘帯状疱疹 CF	
0361	オーム病クラミジア抗体 CF	所要日数 (日)	6～7	4～6	所要日数の変更、 報告書表記の変更
		報告書表記	オーム病クラミドフィラ	オーム病クラミジア	
0379	β-D-グルカン	報告範囲	4.0未満、 4.0～499、500以上	5.0以下、 5.1～299、300以上	適切な報告範囲へ の変更
0454	HBV DNA定量	保存	冷蔵	凍結	保存と報告内容の 変更
0451	HCV RNA定量	報告内容	報告のコメントに「判定不能」、「増幅不良のため判定でき ませんでした」を追加します		
0720	サイトメガロウイルス 核酸定量				
3309	ヒトパピローマウイルス (HPV)ジェノタイプ判定	報告内容	報告のコメントに「判定不能」、「増幅不良のため判定でき ませんでした」を追加します		報告内容の変更
1066	I型コラーゲン架橋N-テロペ プチド(尿中NTX)	項目コード	1066	0910	報告形態の変更に 伴う、項目コード、項目構成(分 画子)の変更
		項目構成 (分画子)	Ntx濃度を報告いたします。 子1：Ntx濃度 子2：クレアチニン換算値	子1：クレアチニン換算値	
0222	リボプロテイン( a )	報告書表記	リボ蛋白(a)	リボプロテイン( a )	報告書表記の変更
0988	C Y F R A 2 1 - 1	報告書表記	シフラ(CYFRA)	C Y F R A 2 1 - 1	報告書表記の変更
0608	水痘帯状疱疹IgG	報告書表記	水痘・帯状ヘルペス IgG	水痘帯状疱疹IgG	報告書表記の変更
0607	水痘帯状疱疹IgM	報告書表記	水痘・帯状ヘルペス IgM	水痘帯状疱疹IgM	報告書表記の変更

■ 相関図

- 低カルボキシル化オステオカルシン（ucOC）
- 抗ガラクトース欠損IgG抗体



- 参考文献  
測定法：西村 順,他：医学と薬学 57（4）：523～535,2007.
- 参考文献  
測定法：平山 吉朗,他：医学と薬学 42（5）：817～828,1995

■ 容器の変更

※2025年10月上旬頃より、在庫がなくなり次第、順次切り替えを行います。

※下記の採取容器に貼付されているラベルが廃止になります。容器には四角内に記載した表記が印字されます。

【E2】 ヘパリン (5.0mL)	【E4】 ヘパリン入り (10mL)	【B4】 EDTA-2Na (5.0mL)	【B5】 EDTA-2Na (7.0mL)	【P3】 3.2%クエン 酸Na (4.5mL)	【U2】 遮光 ポリスピッツ	【専12】 NK細胞活性
						  ※容器のラベルはなくなり ます。外装に変更 はありません。